



た か は し ひ で あ き

高橋英明

謹賀新年 国民の生命と財産を守る!

1月号

新年のご挨拶

みなさま、新年あけましておめでとうございます。

12月17日に臨時国会が閉会しました。日本維新の会が高市政権を支える与党として初めて国政に臨んだ国会でもありました。良く使われる言葉として、『維新の会は政権のアクセル役』と言われております。自民党の総裁選の時に言われていた、『自民党の解党的出直し』として総裁になられた高市総理の背中を押し続け、自民党だけでは成し得なかった改革にアクセル役として、大きな役目を果たした臨時国会ではなかったろうか、と振り返ります。

1955年の結成来、ほとんどの期間を与党として日本を動かしてきた自民党と、2012年に国政政党として誕生した日本維新の会。みなさまご承知の通り、自民党は多くの企業・団体等を支持基盤として有し、政治資金問題や業界団体のための法整備、企業への過剰な税配分等で時の政権が崩れることもありました。

一方で、日本維新の会は特定の企業や団体からの寄付や選挙での支援を受けず、国民ひとりひとりの皆様からの投票で成り立っています。いわゆる『しがらみのない改革』ができるのは、日本維新の会だからこそできることなのです。

政策的に近い政党であったことから高市政権を支える与党となりましたが、政策合意書をベースにして、日本維新の会が自民党を『解党的出直し』と誰もが認めるほどに、今後もスピード感をもって、担ってゆきたいと考えています。

残念ながら、臨時国会中に『議員定数の削減』と『企業団体献金の見直し』について、野党との合意に至ることができませんでしたが、1月から始まる通常国会においては、必ず成立をさせます。

『有言実行』、日本維新の会、私・高橋英明は国民の皆様とお約束した政策を、信念をもって愚直に進めてゆく1年とすることを宣言させて頂き、新年のご挨拶とさせていただきます。

衆議院議員 高橋英明



高橋英明(たかはしひであき)プロフィール

■経歴

埼玉県川口市芝中田生まれ

川口市立芝南小学校卒業
川口市立芝中学校卒業
浦和市立南高等学校卒業
武威大学経済学部卒業
中央工学校建築科専門部卒業

■趣味

サッカー、スキューバダイビング、ジョギング、ボクシング、神輿(みこし)、読書

■党役職

・埼玉維新の会代表
・両院議員総会長
・外国人政策と人口戦略調査会会長
・国会対策筆頭副委員長

■所属委員会

・予算委員会
・文部科学委員会(理事)
・沖縄及び北方問題に関する特別委員会

■資格

・珠算二段(小学6年生で取得/日本代表で韓国へ)
・一級建築施工管理技士
・宅地建物取引士
・空き家相談士

■主な役職

・元川口市議会議員 3期
・日本バリアフリーダイビング協会顧問
・川口市サッカー協会元会長
・日本棋院川口支部元支部長
・スパイダー根本ボクシングジム顧問
・(社)川口青年会議所第38代理事長



衆議院議員 高橋英明事務所

(国会事務所)

〒100-8982 千代田区永田町2-1-2衆議院第2議員会館808
TEL 03-3508-7260 FAX 03-3508-3530

(選挙区事務所)

〒333-0847 埼玉県川口市芝中田2-9-6
TEL 048-262-5808 FAX 048-487-9040

✉ takahashihideaki2021@gmail.com

✉ @ishinhideaki

HP ishinhideaki.jp

Facebook www.facebook.com/hideaki.takahashi.75470

高橋英明 日本維新の会 検索



定例の国政報告会、ラジオ収録、川口市内の行事参加、街頭活動他



国政報告会



ラジオ収録



地元行事(餅つき)



街頭活動(朝の駅頭)



アパホテル会合

国会活動



・12月11日 衆議院予算委員会TV入りで質疑に立ちました。

割り当ての時間が10分しかなかったので細かいことまでは質問できなかったのですが、高市総理大臣・小野田国務大臣・茂木外務大臣に、外国人問題に関しての政府の方向性を質しました。

入口であるビザの制限(入国管理)については茂木外務大臣より、外交上なかなか簡単には制限をかけられないニュアンスの答弁があり、日本版ESTAが始動するまでの期間にビザの制限をかけることは厳しい内容の答弁でした。

一方で、在留管理と出国管理については予算も増額して体制も整ってきており、政府も粛々と進めていくという方向性が確認できました。

ビザの制限(入国管理)に関してはこれからも粘り強く訴え続け、在留管理と出国管理に関しては進捗状況を確認していきたいと考えています。



沖北特別委員会質疑

・12月8日 沖縄及び北方問題に関する特別委員会で質疑に立ちました。

ロシアに対し、コロナ禍の頃より中断している北方墓参に関して、人道的見地より、1日も早く再開・実現させるよう政府に要望しました。事務レベルだけでなく、私たち政治家も動かなくてはなりません。微力ながら、私ももっとロシアのことを学び、北方墓参の再開・実現に尽力してまいりたいと考えています。

また、沖縄でのスポーツ振興として、野球を進めては如何かと意見開陳しました。現在、日本のプロ野球チームの多くが沖縄でキャンプを行っており、また、沖縄の高校と台湾の高校との間で交流が進んでいることや地政学的な点からも、野球におけるアジアの国際交流の場所として最適ではないかと考えているところです。

スーパーバイザーに王貞治さんを迎え超党派の国会議員で作る、『野球の未来を考える議員連盟』が発足しました。その活動目標にもある、『野球を通じた地域活性化』の実現の1つとして、沖縄での野球振興が前に進むよう、これからも当委員会にてフォローしてゆきたいと考えています。



文科部会(予算説明)



経産部会(予算説明)



文科委員会



成年後見制度

空き家相談士として



国家資格ではないため、あまり馴染がないかもしれませんが、空き家相談士という資格があります。私のように宅地建物取引の資格を持つ人や、不動産関係に携わっている人、建築士や弁護士、司法書士、行政書士の資格を持つ人等で協会が組織されています。

私が所属している、『一般社団法人 全国空き家相談士協会』の設立10周年記念祝賀会に出席してきました。そして次の日には、国会内で日本維新の会の国会議員団(空き家・古民家議連)に講演をして頂き、その後意見交換を行いました。

少子高齢化や中山間地域の過疎化が進む中、空き家の活用及び相続等における法整備、そして空き家相談士の国家資格への移行の要望を頂きました。

みなさまのお声を頂きながら、真にみなさまのためとなり国益にかなう法整備を仲間とともに進めてゆきます。

